

平成 30 年 新年のご挨拶

新年明けましておめでとうございます。

本年もどうぞよろしく申し上げます。

介護老人保健施設 東雄苑は開設 13 年目を迎えることが出来ました。昨年は厚生労働省の目指すところに従い在宅復帰を進めました。その結果在宅復帰者の数が 50%を超えることが出来ました。これは、皆様方のご理解・ご支援の賜物と思っております。

介護老人保健施設（老健）はリハビリテーションができる施設であると共に家に帰るまでの一時滞在施設として位置づけられている本来の役割を押し進めていきたいと考えております。

これにはご家族様のご協力なしにはできないことです。自宅へ帰り難い方についてはサービス付高齢者住宅などへの転出も選択の中に入ってきます。これらの施設と連携し、ご家族様・利用者様にとって最適な状態を形作って行きたいと思っております。皆様のご協力をよろしく願います。

日常生活においては毎月の誕生日会、春の遠足、夏祭り、敬老会、年末の餅つき等の季節行事を催すことで、毎月何かしらの行事が行なわれるようにしております。

通所リハビリテーションでは風船ゲーム、ボーリング遊び等の体を動かすゲームも織り交ぜています。利用者様が刺激のある、楽しい毎日を送れるように努力しています。

また、ご家族様とは十分なコミュニケーションをとり、施設との間では信頼関係の中で運用されるようにしていきたいと考えております。

職員一同今年も頑張っていきたいと思っております。

皆様におかれましても本年が良い年であることをお祈りいたします。

平成 30 年 正月
施設長 高野 久輝